

就労選択支援で職業訓練を選択する際のポイント

～職リハにおけるSDM(Shared Decision Making)～

- 柳 恵太（国立職業リハビリテーションセンター 職業指導部 職業評価課 障害者職業カウンセラー）
成田賢司（国立職業リハビリテーションセンター 職業訓練部 技法普及課 職業訓練指導員）

目次

1 はじめに・目的

2 SDM(Shared Decision Making)について

- (1) SDMとは
- (2) 就労選択支援におけるSDMの有用性

3 障害者の職業訓練について

- (1) 現状と課題
- (2) 国立職業リハビリテーションセンター

4 職業訓練における就労アセスメント(入所選考時)

5 就労選択支援で職業訓練を選択するポイント

- (1) 専門的なスキル習得による就職やキャリアアップ
- (2) 企業との連携を活かした就職支援
- (3) 職業訓練指導員と障害者職業カウンセラーの協働
- (4) 金銭的な支援制度の充実

6 おわりに(職リハにおけるSDM)

1 はじめに・目的

■ 就労選択支援の施行(令和7年10月から)

就労選択支援とは

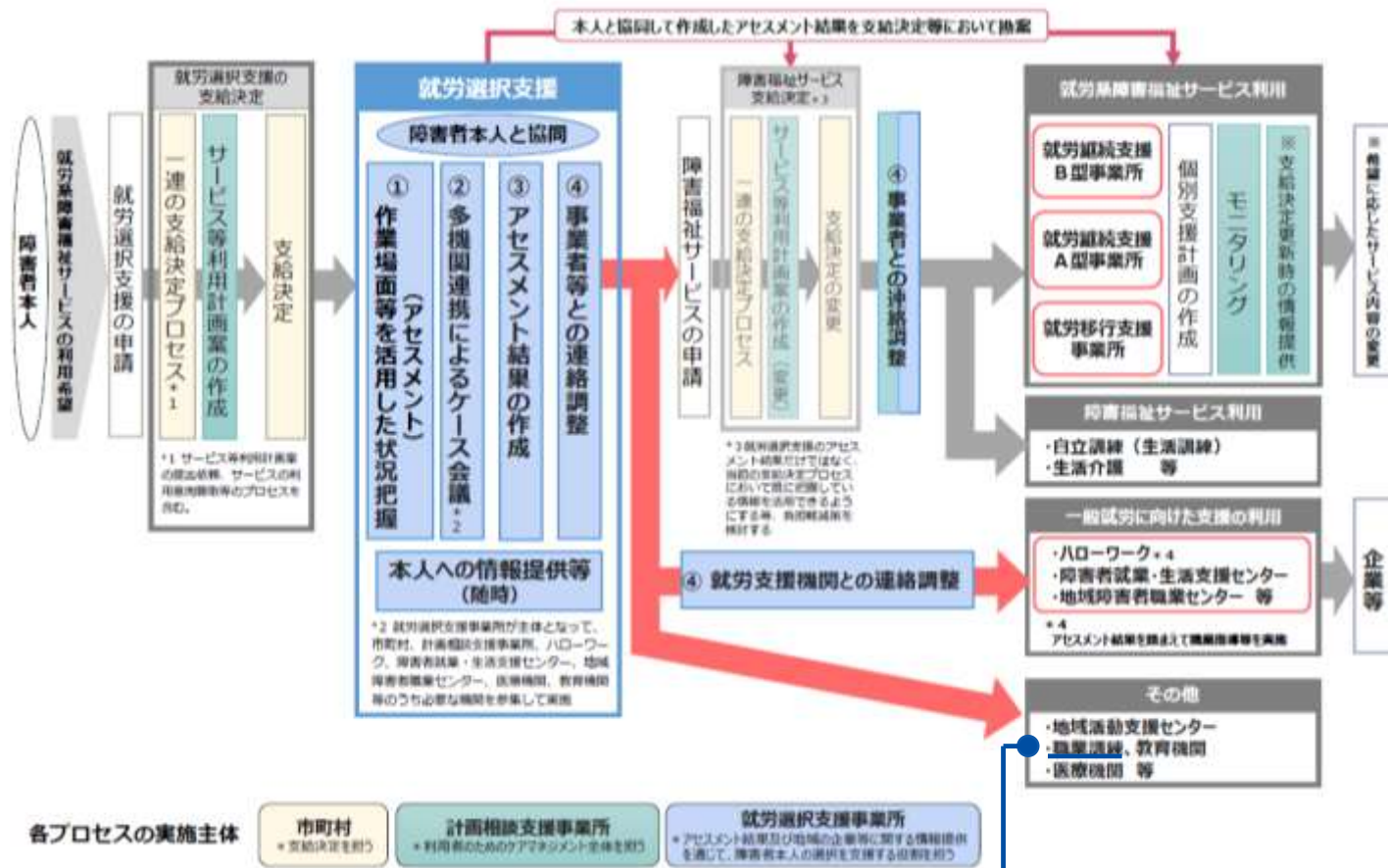
就労アセスメントの手法を活用して、
障害者の希望、就労能力や適性等に合った
選択を支援するサービス

就労アセスメントとは

障害者との協同による就労ニーズの把握や
能力・適性の評価及び就労開始後の配慮事項等の整理

1 はじめに・目的

■ 就労選択支援の基本プロセスについて 1)



職業訓練は一般就労に繋げる選択肢のひとつだが、「その他」に分類されており、注目されにくい(=もっと注目してもらいたい)

1 はじめに・目的

■ 本発表の目的

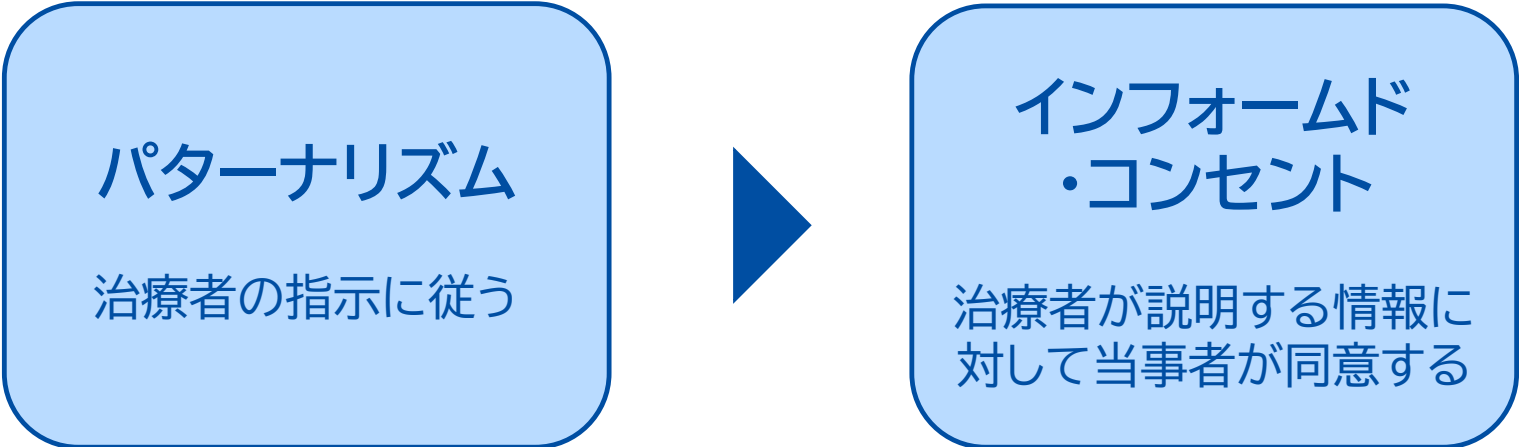


就労選択支援で職業訓練(国立職業リハビリテーションセンター)を選択する際のポイントについて情報提供し、選択の一助とする

2 SDM(Shared Decision Making)について

(1) SDMとは

■ 意思決定・合意形成の方法の変化



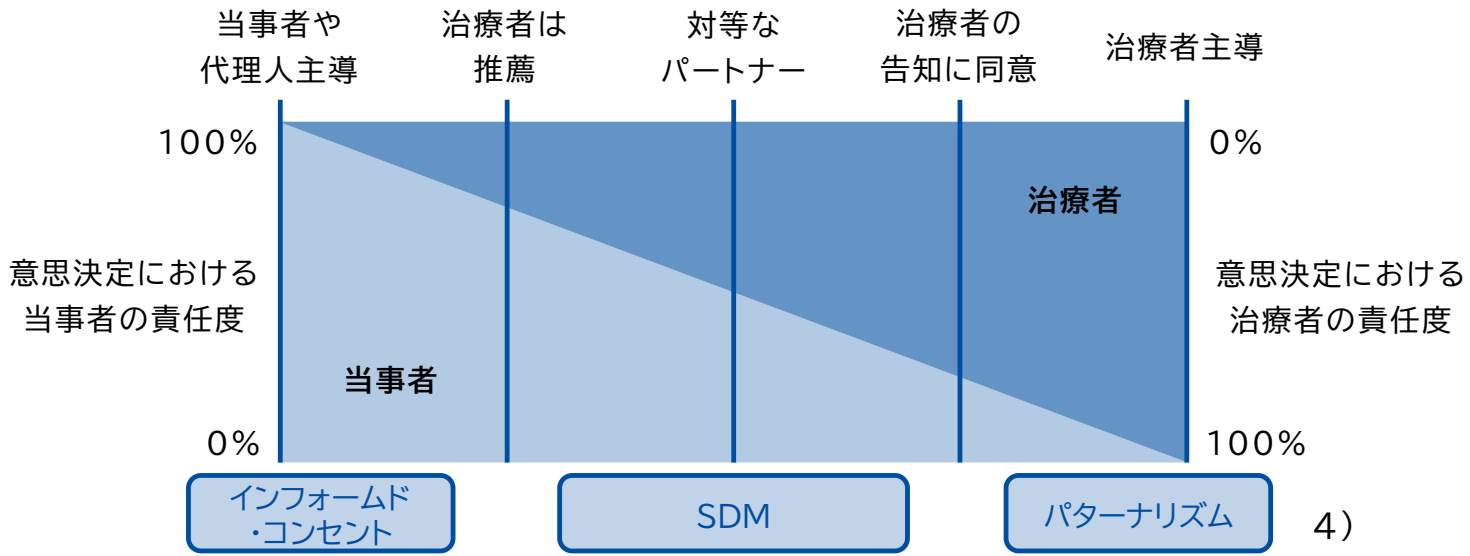
インフォームド・コンセントは
「治療者の定型的な説明と当事者からの同意の取得」によって、
訴訟回避のための証拠書類を残す作業になりかねない」
との指摘がある 2) 3)

2) 中山健夫・藤本修平 編著,「実践シェアード・ディシジョンメイキング 改題改訂第2版」,日本医事新報社,2024/6/10,P3.
3) 松長麻美・藤井千代,「治療同意判断能力と意思決定支援 医療倫理の観点から」,医学書院,2020/10,精神医学 第62巻第10号 P1312.

2 SDM(Shared Decision Making)について

(1) SDMとは

- 日本語訳: **共同意思決定**
- 当事者と治療者の**双方向によるコミュニケーション**を用いた意思決定・合意形成の手法
- 当事者と治療者が**相互で支援方針を決める**プロセスを重視
- 特に**不確実性の高い状況**に対して、**多様性を尊重**しながら向き合う場面で意義を持つ手法



4) 渡邊衡一郎,「共同意思決定(SDM)の概念と現状」,医学書院,2020/10,精神医学 第62巻第10号 P1302『図1 decision makingの連続体』を一部改変.

2 SDM(Shared Decision Making)について

(2) 就労選択支援におけるSDMの有用性

■ 就労選択支援創設の背景

- 障害者の就労能力や一般就労の可能性を
障害者と支援者が十分に**把握できていない**
 - ▶ アセスメント等の**支援スキル**の課題
- 就労継続支援A型・B型の利用が始まると**固定されやすい**
 - ▶ 就労系障害福祉サービスの**報酬体系**等の課題
- **障害者の立場**に立ち**次のステップ**を促す**支援者**の有無によって、障害者の職業生活や人生が大きく左右される

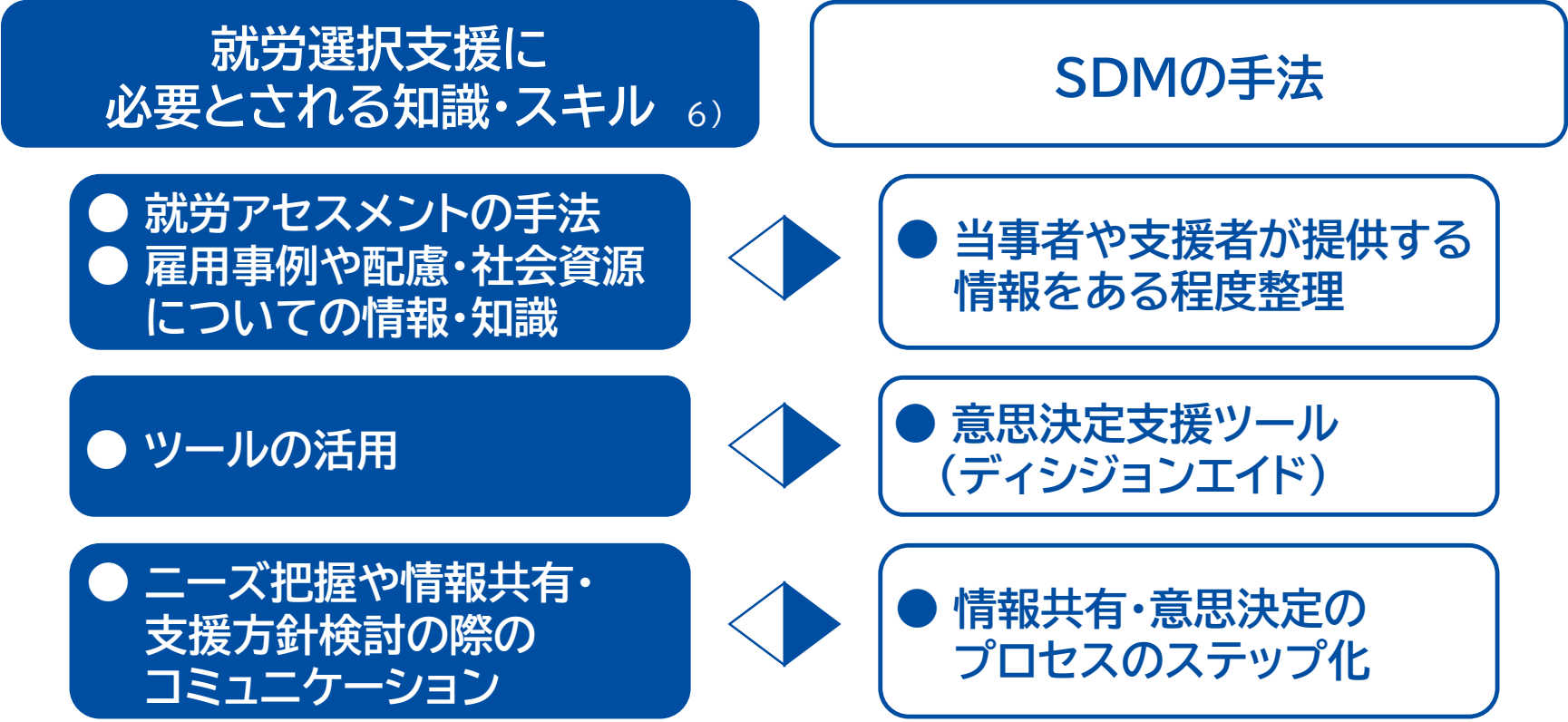


障害者と支援者との**意思決定・合意形成のあり方**にも
課題があるのではないか

(ただし、現状の課題を真に認識するには、詳細な実態把握に基づいた議論が必要) 5)

2 SDM(Shared Decision Making)について

(2) 就労選択支援におけるSDMの有用性



就労選択支援とSDMは**共通点が多く**、
選択される側の支援機関には**正しい情報提供**が求められる

2 SDM(Shared Decision Making)について

(2) 就労選択支援におけるSDMの有用性

■ SDMの手法例：意思決定支援ツール(ディシジョンエイド)



患者さんにご家族のための意思決定ガイド
(<https://www.healthliteracy.jp/decisionaid/>)



「質問促進パンフレット」
精神科外来での共同意思決定支援ツール
(<https://decisionaid.tokyo/>)

2 SDM(Shared Decision Making)について

(2) 就労選択支援におけるSDMの有用性

■ SDMの手法例：情報共有・意思決定のプロセスのステップ化

ステップ	内容
1	意思決定の必要性を認識する
2	意思決定の過程において、両者が対等なパートナーと認識する
3	可能なすべての選択肢を同等のものとして述べる
4	選択肢のメリット・デメリットの情報を交換する
5	医療者が患者の理解と期待を吟味する
6	意向・希望を提示する
7	選択肢と合意に向けて話し合う
8	意思決定を共有する
9	共有した意思決定のアウトカムを評価する時期を相談する

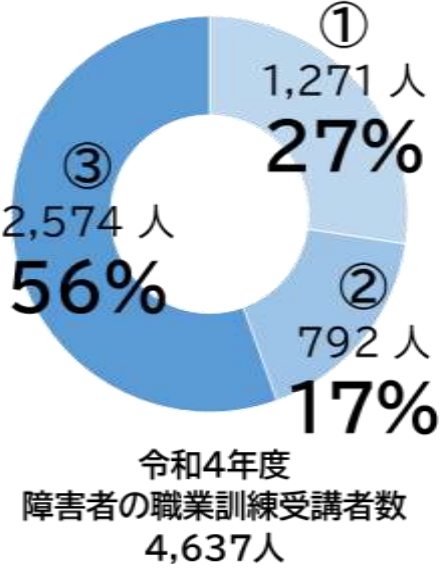
7)

3 障害者の職業訓練について

(1) 現状と課題

障害者の職業訓練の種類と推移

- ① 国や都道府県が設置した障害者能力開発校
(全19校:国立13校[うち**機構営2校**]、都道府県立6校)
- ② 一般の職業能力開発校での障害者対象訓練科28校
- ③ 障害者の多様なニーズに対応した委託訓練92校
 - ▶ 平成16年度の③事業開始により大幅に増加
 - ▶ 平成22年度をピークに**減少**



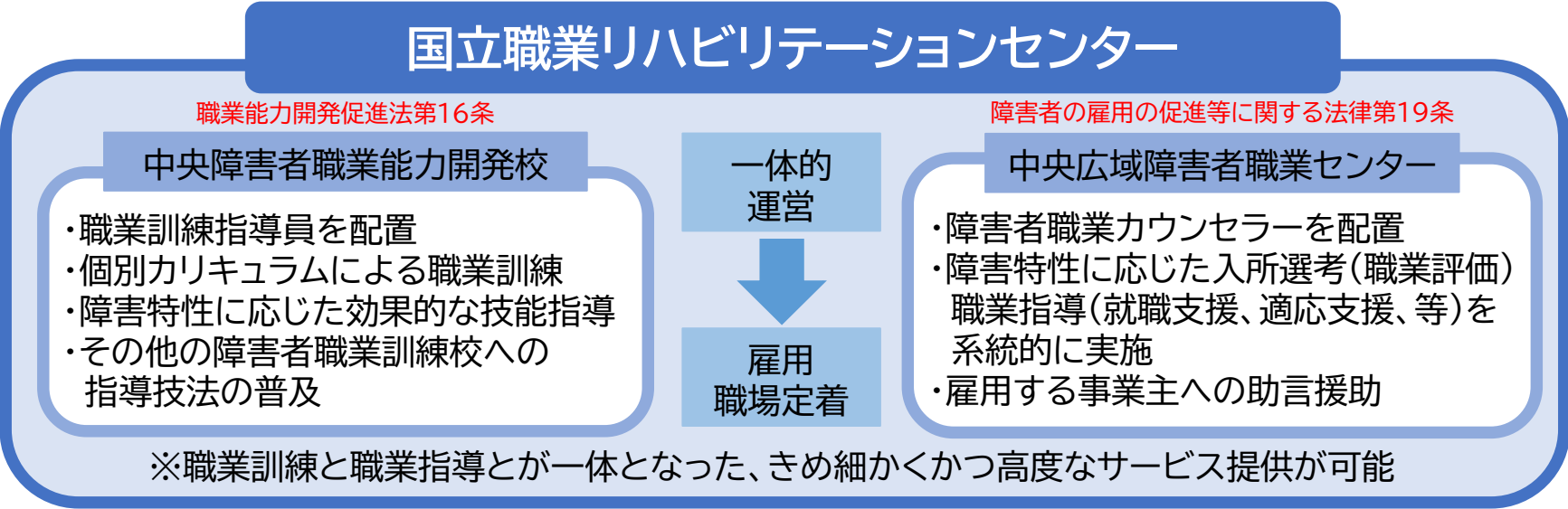
障害者の職業訓練の課題

- ①全体の平均**入校率 57.5%** ※入校率＝入所者数/定員数
 - ▶ 課題：周知や関係機関との連携強化による**定員充足**
- ①全体の平均**就職率 69.3%**
 - ▶ 課題：**就職率の向上**や就職支援の強化

3 障害者の職業訓練について

(2) 国立職業リハビリテーションセンター

- 所在地：埼玉県所沢市 ● 設置年：昭和54年
- 運営：独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構
- 令和5年度 入所者数 149名(入校率 82.8%) ※入校率＝入所者数/定員数
内訳：精神障害49名、発達障害46名、身体障害38名
高次脳機能障害8名、知的障害7名、難病1名
- 令和5年度 就職率 82.3%(職業訓練修了後3カ月目時点を集計)



3 障害者の職業訓練について

(2) 国立職業リハビリテーションセンター

訓練コース	主な訓練内容	主な就職職種
メカトロ系		
機械CADコース	機械製図、2次元CAD、3次元CAD、機械加工	機械設計、CADオペレーター
電子技術・CADコース	電子CAD、電子回路の組立・検査、電子制御	電気・電子機器関連の設計・組立・製造・検査・修理
FAシステムコース	配線図設計、PLCを利用した自動制御、機械加工	製造業務、設計開発補助業務、施設設備管理、開発担当
組立・検査コース	読図、電子機器組立、計測機器の操作・測定・検査	電子機器組立・検査、回路基板実装・組立・検査、機械組立・検査
建築系		
建築CADコース	建築設計・製図、設備機器、2次元CAD、3次元CAD	建築設計、CADオペレーター
情報系		
ソフトウェア開発コース	情報セキュリティ、プログラムの設計・開発	システム開発、システムエンジニア、プログラマー、事務
システム活用コース	情報セキュリティ、ネットワーク管理、Webページ作成	システム管理・保守、ネットワーク構築・保守
視覚障害者情報アクセスコース	視覚障害者用アクセス機器・ソフトを活用したOA機器での事務処理	一般事務、OA事務
DTPコース	DTPデザイン・オペレーション、写真加工、イラストオペレーション、紙面制作	DTPオペレーター、グラフィックデザイナー、事務(名刺作成等含む)
Webコース	Webページの仕組み、コーディング、プログラミング、デザイン制作	Webコーダー、Webデザイナー、Webサイト管理・修正、事務

3 障害者の職業訓練について

(2) 国立職業リハビリテーションセンター

訓練コース	主な訓練内容	主な就職職種
ビジネス系		
会計ビジネスコース	簿記、税務、財務、販売管理、給与計算、OA機器・ソフトでの事務処理、資料作成	経理事務、総務事務、営業事務
OAビジネスコース	OA機器・ソフトでの事務処理、資料作成、庶務・応接知識	一般事務、OA事務、営業事務
オフィスワークコース	データ入力・整理、各種帳票の作成・整理、郵便物仕分けや発送準備等の庶務作業	庶務事務、一般事務、事務補助
物流系		
物流・資材管理コース	ピッキングや運搬等の荷役・物流作業、伝票処理・資材管理、タイピングやデータ入力、書類作成	製品包装作業員、ピッキング作業員、検品検査作業員
職域開発系		
オフィスアシスタントコース	コピー機やシュレッダー作業、押印、紙のさばき方、伝票処理等の事務補助	社内メール便、データ入力、シュレッダー作業
販売・物流ワークコース	商品・物流の仕組み、清掃、接客サービス	倉庫作業、スーパー等での販売員やバックヤード作業、清掃作業
サービスワークコース	ホテルでの客室整備(ベッドメイクや清掃)、レストランなどでのウェイターや食器洗浄、清掃	ベッドメイク作業、食器洗浄作業、清掃作業

4 職業訓練における就労アセスメント(入所選考時)

■ 入所選考の見直しの必要性

- 年10回の応募機会＝入所選考(職業評価)＝就労アセスメント
- **令和2～4年度**の入所選考(特に各訓練コースで実施する**作業評価**)
において課題があったため、見直しを行い、
令和5年度から**新たな方法・評定**で入所選考を実施

■ 入所選考の見直しの結果 ※合格率＝合格者数/被評価者数



入所選考の見直しにより
職業訓練利用の**間口が広がる**ことに繋がった

4 職業訓練における就労アセスメント(入所選考時)

① 効率化

■ 見直し前



訓練コースの受講に必要な能力・適性が
整理しきれず複数の作業課題を実施

■ 見直し後



訓練コースの受講に**真に**必要な能力・適性に対し
最小限の課題を設定し、
評価者・被評価者の**負担を軽減**

4 職業訓練における就労アセスメント(入所選考時)

② 公平性

■ 見直し前



実際の訓練で実施する**作業課題が多く**、
経験値が作業結果に**大きな差**を生じさせていた

■ 見直し後



過去の経験によって作業結果が**影響を受けない**
ような課題を選定し、必要な能力・適性があれば
誰もが公平に訓練コースを受講できる環境を整備

4 職業訓練における就労アセスメント(入所選考時)

③ 標準化

■ 見直し前



作業課題の**困難度**を一切考慮することなく
一定の**評価基準**で評定

■ 見直し後



作業評価の得点(粗点)を**一定の統計処理**により
標準化した基準を用いて、
作業課題の**困難性を考慮**した評定

4 職業訓練における就労アセスメント(入所選考時)

④ 必須条件の確認

■ 見直し前



訓練による技能・知識の習得可能性が
教示レベルという概念で評定されており、
丁寧な教示が必要なほど**マイナス**となる重み付け

■ 見直し後



訓練コースの受講に必要な能力・適性とは別に、
訓練による技能・知識の習得可能性を
独立した評価項目として設定し、
教示を含む合理的配慮に基づき
「訓練指導員の**指示・助言を理解**して、
学習したことを反映・再現できるか」等の
訓練指導時の視点を踏まえ確認

5 就労選択支援で職業訓練を選択する際のポイント

(1) 専門的なスキル習得による就職やキャリアアップ

職業訓練指導員が

訓練生一人一人の**習熟度**に合わせて**個別訓練**を実施



専門的なスキルを**習得**させ、

専門的なスキルを活かした職種や求人へ**就職**



就職後や転職後の**キャリアアップ**



5 就労選択支援で職業訓練を選択する際のポイント

(2) 企業との連携を活かした就職支援

■ 企業における障害者の人材確保の課題

- 民間企業での障害者の法定雇用率の段階的な引き上げ
- 令和6年4月～2.5% 令和8年7月～2.7%



企業との連携を活かした就職支援

- 多様な障害者が**常時100名以上在籍**し訓練
- 令和5年度
当センターを**見学した会社 167社**
当センターで**説明会を開催した会社 29社**
▶ 採用や今後の就職活動に繋がる



5 就労選択支援で職業訓練を選択する際のポイント

(3) 職業訓練指導員と障害者職業カウンセラーの協働



職業訓練指導員

専門性を発揮



連携



障害者職業カウンセラー

■ 例えば、入所選考時の面接では…

- 職業訓練指導員と障害者職業カウンセラーが**同席**
- **障害特性**や**キャリア**、就職を希望する**業界の動向**等を踏まえた相談

5 就労選択支援で職業訓練を選択する際のポイント

(4) 金銭的な支援制度の充実

■ 公共職業訓練の種類と金銭的な支援制度

① 離職者訓練：雇用保険を受給している求職者対象

▶ **基本手当：雇用保険(失業保険)の支給が延長**

▶ 受講手当：訓練受講日に支給。日額500円(上限日数40日分)

② 求職者支援訓練：雇用保険を受給できない(受給を終えた)求職者対象

▶ **職業訓練受講手当：月額10万円**

※ ①②に共通した手当

▶ 通所手当：通所の距離・方法に応じて支給(上限月額42,500円)

▶ 寄宿手当：同居親族と別居して寄宿する場合支給(月額10,700円)

※ いずれも支給は一定の要件を満たす場合に限る

金銭的な支援制度により生活面の不安を軽減し、
安心して職業訓練や就職活動に臨むことができる



6 おわりに(職リハにおけるSDM)

■ 何をすればSDM？良い就労選択支援？

● SDM

「意思決定支援ツール(ディシジョンエイド)」を使用すればよい？

● 就労選択支援

「就労支援のためのアセスメントシート」や

「MWS(ワークサンプル幕張版)」を使用すればよい？

ケース会議を形式的に実施すればよい？



■ 大切なことは…

一般就労という**可能性へ挑戦**するなかで、

障害者の**価値観**や**希望**に支援者が**伴走**しながら**ともに**取り組み、

時には**変化に柔軟に対応していく姿勢**



6 おわりに(職リハにおけるSDM)

■ 意思決定支援ではなく欲望形成支援

- 哲学者の國分功一郎は意思決定支援という言葉に代えて「**欲望形成支援**」という言葉を提案 8) 9)
 - ▶ 曖昧で矛盾した**欲望**を**共同**で**形成**していくことが重要

■ 職業訓練における欲望形成支援と職業能力開発

- 職業訓練のひとつのゴールは一般就労
- 職業訓練で専門的なスキルを習得するなかで、
 - 「**スキルを発揮したい**」「**配慮があればできる**」
 - ▶ **欲望形成支援**でもあり、**職業能力開発**でもある



職業リハビリテーションにおいても同様に重要



8) 國分功一郎、「中動態/意志/責任をめぐる」,医学書院,2019/1,精神看護 第22巻第1号 P5-P16.

9) 國分功一郎・熊谷晋一郎、「＜責任＞の生成——中動態と当事者研究」,新曜社,2020/12/1,P194-P202.

6 おわりに(職リハにおけるSDM)

■ 国立職業リハビリテーションセンター(埼玉県所沢市)の他にも…

- 当機構が運営する同様の施設が岡山県の吉備高原にもある
 - ▶ 国立吉備高原職業リハビリテーションセンター



就労選択支援においては両施設の利用・選択をよろしく願います

国立吉備高原職業リハビリテーションセンターの訓練コース					
訓練系	受講指示等の訓練科名	訓練コース	定員	訓練期間	
メカトロ系	機械製図科	機械C A Dコース	5 名	1 年	
	電子機器科	電気・電子技術・C A Dコース	15 名		
		組立・検査コース			
		製造ワークコース			
ビジネス情報系	システム設計科	システム設計・管理コース	10 名	2 年	
		I Tビジネスコース			
	経理事務科	会計ビジネスコース	5 名	1 年	
	O A事務科	O Aビジネスコース			15 名
		オフィスワークコース			
アシスタント系	アシスタントワーク科	販売・物流ワークコース	20 名		
		サービスワークコース			



ご清聴ありがとうございました

